

「不易」を踏まえ将来に備える

福経協
総会

大正大・北海道医療大が発表

福祉人材養成に取り組む全国26大学(私立大学25校・公立大学1校)で構成する「福祉系大学経営者協議会(福経協)」は、6月17日、オンラインで令和3年度第1回総会を開催。23校45名が参加した。



柏木専務理事(大正大)が講演

開会にあたり、丸山悟(長)が挨拶。「我が国で会長(日本福祉大学理事)は、高齢者に限らず「孤

独・孤立」の問題が深刻化している。コロナで更に厳しい状態になってきていることが懸念され、学生も、コロナ禍で友人関係を作りにくくなっている。その中で、実習・演習・フィールドワークの多い福祉系大学こそ、「つながり」や心が触れ合える「コミュニティ」を大切に、そこを「福祉系大学での学びの価値」にしていく必要があるのではないか。本日は、そのような視点もふまえ議論していきたい」

と述べた。

冒頭、日本ソーシャルワーク教育学校連盟(ソ教連)白澤政和会長を招き、「子ども庁の設置と子ども家庭福祉に関する資格のあり方(検討状況報告)」をテーマに講演が行われた。白澤会長は、「子ども家庭福祉に関する専門職の資格について、国の検討経過やソ教連の見解等を説明。参加者からは、「資格に関するカリキュラムをどう編成し、その資格を「職」に結び付けていくかという観点も押さえていくべきではないか」「資格制度に加えて、現場の職員

の研修や専門性の育成支

援についても議論が必要ではないか」等の声が聞かれた。福経協も子ども家庭福祉関連の資格制度の動向を注視しており、今後、ソ教連とも協働し必要な対応をはかる考えである。

次に審議事項に移り、令和2年度事業報告・決算報告、令和3年度の事業計画・予算について説明が行われ、それぞれ承認された。また、令和3・4年度の新たな役員体制についても承認された。

続いて、Society of the 21st Centuryの社会を見据えた会員校の先進的な取り組みと紹介。最後に、長谷川匡俊副会長(大乗淑徳学園理事長)が「ソ教連白澤会長

福祉系大学経営者協議会加盟校(令和3年6月現在) 北星学園大/北海道医療大/東北福祉大/国際医療福祉大/群馬医療福祉大/文京学院大/大正大/田園調布学園大/日本社会事業大/ルーテル学院大/淑徳大/金城大/長野大/中部学院大/静岡英和学院大/静岡福祉大/聖隷クリストファー大/同朋大/日本福祉大/関西福祉科学大/関西福祉大/大阪人間科学大/徳山大/長崎国際大/熊本学園大/鹿児島国際大